

1 教育目標

(1) 幼稚園の教育目標

人権尊重の精神に基づき、自他の生命を尊び、心身ともに健康で心豊かな幼児の育成を目指し、次の目標を定めるとともに、義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、以下に示す小学校の教育目標及び教育活動との関連を密接に図る。

教育目標	重点	現代的な課題
考える子ども (自分で考え行動する子)	◎	自律、エージェンシー
思いやりのある子ども (豊かな感性をもち、人とかかわることを喜ぶ子)		DEI、非認知的能力 (GRIT、レジリエンス)
たくましい子ども (心身ともに健康で意欲的な子)		Well-being



早稲田小学校の教育目標及び教育活動（6～12歳の学び）	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 考えて行動する子ども ○ 思いやりのあるやさしい子ども ○ 健康でたくましい子ども 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタートカリキュラムの実施 ・幼小相互の教育の質の向上を目的とした合同会議 ・幼児・児童の交流、教員の連携、カリキュラムの接続

(2) 幼稚園の教育目標を達成するための基本方針

① 「考える子ども」の実現に向けて

- 主体性と協同性、創造力をはぐくむ質の高い教育の推進
 - ・ 幼児の疑問や発見から生まれる問いを大切にし、試行錯誤しながら、自分なりの方法で主体的・対話的、協同的に遊びや学びを創造していく過程を重視し、思考力の芽生えが養われるようにする。
 - ・ 人と人が心を通わせる中で、豊かな言葉や表現を身に付け、言葉による伝え合いを楽しむようにするとともに、絵本や物語に親しむ活動を充実させる。
 - ・ 幼稚園で生活する「みんな」が楽しい園生活を送ることができるようにしていくとともに、様々な自然や新しい環境と出会い、感性を働かせてわくわくするような遊びや学びを重視し、表現する喜びを感じたり味わったりして、意欲をもてるようにする。
- 遊びや学びの基礎や素地となる力をはぐくむ教育の推進
 - ・ ふれあいタイムなど、幼児と保護者がふれあう活動の機会を重視する。
 - ・ 幼児の基本的な生活習慣の形成にあたっては、家庭と密接に連携するとともに、幼児の生活経験に配慮し、幼児の自立心を育て、見通しをもって行動できるようにする。
 - ・ 遊びや学びに没頭し夢中になって取り組む活動を通して、感じ取り、気付き、考え、予想するなど、さまざまな対象との多様な関わりを楽しむようにする。
 - ・ 友達の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気付き、新しい考えを生み出す

喜びを味わわせ、思考力の芽生えや豊かな感性と表現力の芽生えをはぐくむ。

- ・直接的・具体的な体験の中で自ら試して活用する経験を重ねることを通して、自信をもって行動し、充実感をもってやり遂げられるようにしていく。

②「思いやりのある子ども」の実現に向けて

- “いのち”を感じ、“いのち”を伝え合う“いのち”の教育の推進
 - ・多様な自他を認め合い、自分が愛されている存在であることを園や家庭、地域で伝え合い、地域ぐるみで人権教育を推進する。
 - ・身近な動植物との触れ合いの中で、心を動かし、生命の不思議さや尊さへの気付きを大切にするとともに、コロナ禍においても幼児の安全・安心を第一に考えた安全指導を充実させた持続可能な“いのち”の教育を推進する。
 - ・友達との関わりの中で、自分を感じ、友達の気持ちに共感し、相手の立場に立って考え行動するようにさせ、いじめの芽を見逃さないようにするとともに、自らきまりを守ろうとする規範意識の芽生えを育成する。
- 多様なコミュニケーション能力の素地となる自立心や人と関わる力の育成を図る教育の充実
 - ・家族を大切にし、地域の人との触れ合いの中で、自分が役に立つ喜びを感じられるようにする。
 - ・園評価等、外部評価に基づく経営改革を柔軟に推進し、家庭や地域から信頼される園になる。
 - ・「みんな」で支え合い認め合う特別支援教育の推進をする。
 - ・就学前教育と小学校教育との連携を重視し、併設の早稲田小学校を中心に、近隣の保育園、幼稚園、子ども園等と連携した遊びや学びの交流や創造を大切にする。

③「たくましい子ども」の実現に向けて

- 児童期以降の運動機能の基礎となる体力・運動能力の向上
 - ・体を動かす楽しさや心地よさを感じ、健康な心と体をはぐくむとともに、オリンピック・パラリンピック教育のレガシーの取組を推進する。
- 生涯にわたる健康的で活動的な生活習慣の形成の素地となる健康的な体の育成
 - ・楽しく体を動かす時間を一定程度確保するとともに、幼児が体を動かしたくなるような環境の構成を工夫する。
- 健やかな心の育ちを促す意欲的な心の育成
 - ・すべての幼児が、心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動する機会を大切にし、自ら健康で安全な生活をつくり出せるようにする。